

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
10	創価大学	企業論	里上 三保子 経営学部 講師	4	秋学期	火 金	30	火 14:50~16:20 金 9:00~10:30	創価大学	3

【到達目標】

- ・企業の歴史的発展と企業に関する理論的発展について、それぞれについて理解するとともに、その相互関係についても自分の考えを元に説明できる。
- ・企業は経済主体としてどのような経済活動を行っているのか、またその際の問題について理解する。
- ・国ごとの企業のあり方の違いを理解し、その違いがなぜ生じるのか、グローバル化はどのような影響をもたらしているのかについて自分の言葉で説明できる。

【授業の概要】

本講義では、経済活動の一主体である企業について、様々な角度からのアプローチを学ぶ。企業そのものに焦点を当てるのがメインではあるが、企業を取り巻く環境にも言及する。講義の構成は大きく基礎編と応用編に分かれており、企業に関する基本的な見方と理論を学んだ後に、現代社会における企業の変化や、企業に関する国際比較、現代企業が直面する課題について幅広く学んでいく。

【授業内容】

1. イントロダクション：本講義の内容、進め方、参考文献について
2. 企業形態の歴史的展開
3. 日本の企業制度史
4. 法制上の企業形態①
5. 法制上の企業形態②
6. 株式会社の実際①
7. 株式会社の実際②
8. 企業競争と独占①
9. 企業競争と独占②
10. 企業競争と独占③
11. 結合企業形態
12. 企業格差の構造
13. 企業の国際化
14. 公企業
15. ここまでの振り返り
16. 企業と社会とは
17. CSRの発展と現在
18. ステイクホルダー論
19. コーポレートガバナンスとは
20. コーポレートガバナンスの理論①
21. コーポレートガバナンスの理論②
22. コーポレートガバナンスの理論③
23. 規律付けのメカニズム①
24. 規律付けのメカニズム②
25. 株式会社の仕組み
26. 会社は誰のものか？
27. 3つの制度設計とコーポレートガバナンス改革
28. 企業の国際比較①
29. 企業の国際比較②
30. 総まとめ

【成績評価方法】

- 定期試験 70%
日常点 30%

【教科書】

教科書・参考書については授業中に適宜指示します。

【参考書、教材等】

1. 小松章著『新経営学ライブラリー 企業形態論 第3版』新世社、2006年。
2. 小山巖也、出見世信之、谷口勇仁著『有斐閣ストゥディア 問いから始める現代企業』有斐閣、2018年。
3. 江川雅子著『現代コーポレートガバナンス 戦略・制度・市場』日本経済新聞出版社、2018年。
4. 上坂卓郎著『現代企業論入門 会社設立から発展、再生まで』中央経済社、2018年。

※ この授業は、9/13（火）が初回です。